野外×アート　都立善福寺公園（上池）

※画像はイメージであり、必ずしも今回の出展作品を示すものではありません。

空間展示

1 黒野 裕一郎　Chrono Yuichiro

【インスタレーション】ラストダンス

この公園に敬意を払い、寄り添うような作品を作ります。

※野外ステージとしても使用します。

2 アトリエそら+　Atelier SORA Plus　＋ワークショップ

【プロジェクト】マイ本棚を巡る冒険 第3巻

こどもたちとのワークショップで作った、自分だけのマイ本棚たちをステージ近辺に展示。いろいろな人たちから本を提供いただいて本棚に入れ、公園で本を読む時間を楽しみます。

展示　11.4（月・振休）・17（日） 10:00~16:00

朗読WS　11.4（月・振休）11:00／14:00　17（日）11:00／12:30

3 第二次 谷杉（ミミトメ）　Dainiji Tanisugi（Ears+Eyes）

【演劇インスタレーション】声の小さな舞台俳優

演劇の枠組みを援用した観客参加型の演劇インスタレーションです。池周辺4か所と葉月ホールハウスに小さな舞台装置と台本が配置されています。台本の指示にしたがって、周りの人にわからないように、セリフを読んでください。5つの劇場をまわると、ぼんやりと物語が生まれるかも。

4 さくら・アリスとその仲間達　Sakura Alice and Company　＋パフォーマンス

【参加型インスタレーション】ハードル／ゲートの行列

貴方の越えたいハードルを想像し、そして、貴方のタイミングでそれを越えながら、この行列の中を進みましょう。どうやってハードルの先に進むかを考えることで、先に進むための新しい方法を発見するかもしれない。

パフォーマンス　11.3（日・祝）・10（日）・23（土・祝） 11:00~16:00（雨天中止・予備日有）

5 ZHANG Kexin

【インスタレーション】Whisper Tube

Whisper Tube（ささやくチューブ）は、2つの部分からなるインスタレーション。1つは糸電話を通して会話する経験を再現することを目的としたもの。もう1つはホワイトノイズを介して海の音を再び創り出すことを目的としたもの。どちらもチューブを通して聞こえる音の親密さを訪問者に楽しんでもらう作品。

6 だいさく　Daisaku

【インスタレーション】コオロギが歌う

現実のコオロギは、黒くて、暑さにも寒さにも弱く、すぐに死んでしまう小さくて弱い生き物です。僕のコオロギは、中にガラクタ（どんぐり、葉っぱ、花びら、風船の欠片、きれいな紐、アクリルの塊など）が詰められ、色鮮やかで丈夫でかっこいいです。みんなのびのび生きています。

7 武蔵野大学 水谷俊博研究室　Musashino University, Toshihiro Mizutani Lab.

【インスタレーション】Come Talk To Me

街を歩く人の手にはスマートフォン、耳にはイヤホン。自然の中に潜む囁きどころか、自らの囁きにすら気づくことができない。現代なくなりつつある公衆電話はある意味で存在感を放つ。そこに立ち寄り、ふと自然の中で、“向こう側の自分”に囁く。普段は聞こえないはずの自らの本心に気づくきっかけとなるかもしれない。

8 suzume_f

【インスタレーション】Whisper Fish

「囁」という漢字から生まれたのは、口が1つ、耳が3つあるWhisper Fish。日常の物事に擬態した魚によって囁かれる物語が、SNSの海に放たれる。日々の忙しさによって忘れ去られた、子供の頃になぜか夢中になっていたものたちの囁き、自分と向き合う時間をトロールの森で楽しもう。

9 のぐち あやの　Ayano Noguchi

【スタンドグラス】根っこのしゃっくり。

まだ、賑やかだった昼間の、ほてりの残る公園。草にまみれて、聞こえるのは、空耳かなにか。「ぼく。」「かばら・かばら。」「しゅぺぺ。」枝葉に引っかかった、おしゃべりのかけら。土深く新芽の、かかとを打ち鳴らす音。人と自然の入り混じった場所で、夕暮れに霞んでいく気配のそっちこっちを、拾って歩く。

10 宮岸 浩（ボムライ ウエスト）　Miyazaki Hiroshi（BOMBRAI WEST）

【インスタレーション】The Whisper of the Color Red

風鈴は音のなり方で吉凶を占ったり、魂を呼ぶ存在であったり、幸運をもたらすものとされる等、地域によって幅広い意味を持つ。本作品では多様な意味合いを持つ「風鈴」を用いたインスタレーション作品を善福寺公園内に設置、その音を響かせることで場所の意味を広げ、その場所の囁きに耳を澄ませたい。

11 飯島 祐奈　Yuna Iijima

【彫刻】『ここだけの話』の距離

「ここだけの話。この前○○○○○たんだよ。」「え？何？聞こえなかった。」「だから～○○○○○たんだって！！」「へ～。（またもや聞こえていない。でももう聞き返せない。）それにしても、そんなに小さな声で話すことなの？」。これが囁きの距離で繰り広げられる日常の会話。

12 RITENUTObytac DamaDamTal

【インスタレーション】傷（ささや）き-棘の皮服

チワチワチワチワチフクチチクチクワフワフチフチフクフクフワフワチワチフチフワフワフチフチワチ

13 戸室太一建築設計室　Taichi Tomuro Architects

【インスタレーション】あらゆる風景を聴く

この作品は子供の頃によく作った潜望鏡の工作から着想。公園の樹々の間に高さの異なる50cm角の筒（潜望鏡）を並べる。様々な方向を向いた筒を覗き込むと、公園の池や緑や空がいつもとほんの少しだけ違って見える。いつもと少し違った風景を見て、世界の多様性を感じ取ってもらえれば…。

14 Nick West

【インスタレーション／彫刻】モスブック

私は、本がどのようなものでありうるかに興味を持っています。今回は、苔で覆われた本-Moss Book-を作ります。Moss Bookはその土地の自然素材に結びついています。公園を訪れる人が、散策しながら、自分自身の物語に旅立つことができるように感じてもらえたら！

15 onomayu

【陶芸】Grow

「土や釉薬、素材そのものの美しさを伝えたい」と考え制作しています。美しい木々との調和を意識しつつ、非日常な空間となるような展示にしたいと思います。

16 黄 納川　HUANG NACHUAN

【彫刻】whisper鳥 whisper滝

叫び声より耳に入るのは囁き。緑豊かな公園で歩くと野鳥のきれいな鳴き声が聞こえて、数歩足を進めて滝の音に気付き、自然の囁きが耳に入る。体験したところで作品を展示することによって多くの人に私が感じた自然の囁きを伝えたいと考えている。

17 三本木 歓　Kan Sanbongi

【インスタレーション】善福寺三門

古くは池の水が溢れ倒壊した善福寺のお堂。その寺院は再興することなく、名前のみがこの地に残った。園内の高台にコンクリートの構造物がある。その佇まいを眺めていると、どこか三門のようにも見えてくる。会期中この構造物は廃絶した善福寺の三門として私達の前に顕現する。溢れだす水のイメージが時の流れを囁きかける。

18 深沢 義一　FUKAZAWA Yoshikazu

【インスタレーション】土の音

地中では地球、地下水、根、地中の生物の音
地上では虫、草、枯れ葉、地表を吹く風の音
そして上空の風や鳥、遠くのざわめき…
伝声管をヒントに、ふだん聞いてない音を聴く装置をつくる。

19 平木 咲耶子　Sakuyako Hiraki

【インスタレーション】呼気

善福寺公園にはラクウショウが植栽されている。ラクウショウの木は、呼吸をするために地面から呼吸根を生やす。呼吸根は普段聞こえない、木の呼吸が顕在化されたものと考えた。公園内の樹木周辺に呼吸根を配置し、中から聞こえる音に耳を澄ませることで「木の囁き」を感じてほしい。

20 安井 ちさと　Chisato Yasui　＋パフォーマンス

【インスタレーション】水脈

一粒の水滴が、途方もなく長い時間をかけて大きな池となるまでの変化、円環、循環をストーリーに見立て、陶の立体によるインスタレーションによって表現します。

パフォーマンス　11.9（土）・23（土・祝） 15:00

21 田附 希恵　Kie Tatsuki

【彫刻】風にはこばれて

小さく声を出した時に起こる小さな風、小さな音をより遠くまで運んでくれる風。目に見えない風のかたちも植物の揺れる様子や水の上に広がる波紋に隠れています。作品と作品の間をつなぐ風のかたちや音をご覧いただけますように。

22 栗田 昇　KURITA Noboru

【インスタレーション】水のきらめき 天使の囁き

雨は空から降り大地に浸み込む、地中を流れ、いつしか池に湧き出る、きらめく水は水車を回し、静かな水辺に天使は舞い降り、そして優しく囁く…。

23 木村 泰斗／nana nanaka　Taito Kimura / nana nanaka

【インスタレーション】寒冷な波紋

「囁き」というテーマから、物理的に考え水面に現れる波（波紋）を連想し、金属板、金属棒を使用して、波紋を立体的に表現している。また、金属板を重ねる構成により、波紋同士の共鳴、波紋の動きを表現している。人、時間によって作品の見え方、感じ方が異なる作品。

24 章 元駿　ZHANG Yuanjun

【インスタレーション】空の滝

森の木々の間からたちあらわれ、小さな盛り上がった山から注ぐ鏡のようにきらめく滝は、空の状態や色を反射し、枯山水の精神を内包している。晴れた日には空は手の届くところで輝き、ほとばしる音とともに雨粒を集めながら、自然や気候の美しさを純粋さからの囁きを聴きつつひそかに例示するのだ。

25 久木田 茜　Kukita Akane

【インスタレーション】一葉一環

自然には稀に、規則性を持った理想的な秩序が存在していると言われている。私の制作は、自然というカオスの中から、理想的な秩序へ形態を整えてみることだ。

26 桃四コミュニティスクール　MOMOSHI Community School

【インスタレーション】おでかけトロール

西荻窪駅からバス通りへとのびるトロールたちが、公園内へと続き、森でかくれんぼ。

27 2.5 architects（森藤 文華+葛 沁芸）　（F. Morito+S. Katsu）　＋パフォーマンス

【インスタレーション+パフォーマンス】紡ぎ歌

公園の微細な音を捕らえ、その軌跡を展示します。さながら獲物を捕獲する蜘蛛のように張り巡らした糸。そこに生じた空間の濃淡は、音の所在をささやきかけます。パフォーマンスでは、二人の針子が糸を紡ぐ様子を披露。

パフォーマンス　11.3（日・祝） 10:30~12:30／14:00~16:00

身体表現

A キャラバンぜんぷく　Caravan Zenpuku

【パフォーマンス】踊らにゃソンソン！ 見なきゃソンソン！

公園のあちこちで、さまざまなパフォーマンスが展開！

日時　11.10（日） 10:00~16:00

場所　野外ステージ　11:00/13:00 五反舎はなたれ組［朗読劇］
14:30 三毛猫の音読屋（洲永敬子）［音読］　15:00 オンドズ［創作音頭］

遊具広場　随時　鈴木秀城［パントマイム］

B Collectif bim

【パフォーマンス】場の精霊

新しい善福寺公園を発見する旅へ！ フランスから来日するアーティスト集団による、“場の精霊”を目覚めさせる、サイトスペシフィックなパフォーマンス。

日時　11.22（金） 15:00　11.23（土・祝） 11:00/15:00　11.24（日） 11:00

集合場所　野外ステージ付近（公園内周遊）

C Cozy Caravan

【ギターライブ】ジプシー・スウィング・ライブ

ヨーロッパのジプシー音楽とアメリカのジャズを融合した「ジプシー・スウィング・ジャズ」を演奏します。

日時　11.4（月・振休） 13:00／15:00　10（日） 11:30／13:30

場所　野外ステージ

D haruka bird

【エアリアルパフォーマンス】光のささやき

光のささやきは、地から、海から、そして天から、いつも私たちに降りそそいでいます。光のささやきを言葉にすると：優しさ／kindness、許し／forgiveness、愛／love だったり。目では見えないけれど、耳を澄ませば聴こえる、心を澄ませば感じることができる、そして自分自身の中にもそれらが芽生えてくるのです。

日時・場所　11.3（日・祝） 13:00／15:30 作品 17　17（日） 13:00／15:00 遊具広場の木

E かぽーれ かぽーれ よいとな　Kappore Kappore Yoitona

【かっぽれ】踊れ! かっぽれ

粋な江戸芸としての情緒が見どころ、定番「伊勢音頭」「奴さん」「深川」そして「かっぽれ」のほか、森繁久彌の歌う「フラメンコかっぽれ」も踊ります。また、観客も参加して一緒にかっぽれを踊るコーナーもあります。

日時　11.3（日・祝） 11:00／14:00　23（土・祝） 10:30／13:00　場所　野外ステージ

F カワムラアツノリ　KAWAMURA Atsunori

【ダンス+トーク】動くべきとき動いて、そうでないときは動かない

即興で踊ります。昨年も同じタイトルでやりました。だいたい同じことやります。踊って、話して、また踊る。観てくれる人ともっと話して意見交換したいです。ダンスとは何か？ というダンスなので、観る人の意見でいろいろ変わると思います。

日時　11.3（日・祝） 11:30／14:30　23（土・祝） 14:00　場所　野外ステージ

G Life Garden

【パフォーマンス】無音

静寂と自由は、最大の財宝である ー L.V.Beethoven
微かな音楽と囁くダンスの小さなLive。少し離れただけで無音になりますか？ その時、何が聞こえますか？
音楽：Life Garden　ダンス：みきたまき　衣装：RITENUTObytac

日時　11.3（日・祝） 15:00　場所　作品 12 の近く（遊具広場付近）

H 佐藤ひろみとPINMY倶楽部　Sato Hiromi and PINMY Club

【パフォーマンス】PINKのウェーブ

ピンクの衣装を自作し続けて10年以上たちました。衣装を身につけて世の中に明るく発信していく活動にリピーターも増え、賛同してくださる方々とまた今年度を迎えます。今年は善福寺公園と街中をピンクでLOVEウォーキングしPINK WAVEを送ります。

日時　11.3（日・祝） 12:00~16:00　行程　桃四小→西荻窪駅→善福寺公園（公園内周遊）

I ソマキとクボ　somaki to kubo

【パフォーマンス】歩く人

私は歩き続ける。日々のせわしなさ、強いられる協調性に従いも逆らいもせず、自分の意思で土を踏み、歩き続けてみる。（6時間かけて公園1周を途方もなくゆっくり歩いています。一緒に遊ぶことはできませんが、見つけてもらえたら嬉しいです。）

日時　11.3（日・祝）／23（土・祝） 10:00~16:00（予備日有）　場所　公園内周遊

J 池の畔の遊歩音楽会チーム　Team Promenade Concert around the Pond

【コンサート】池の畔の遊歩音楽会 2019:音のすむ森に捧ぐ！ Vol.10

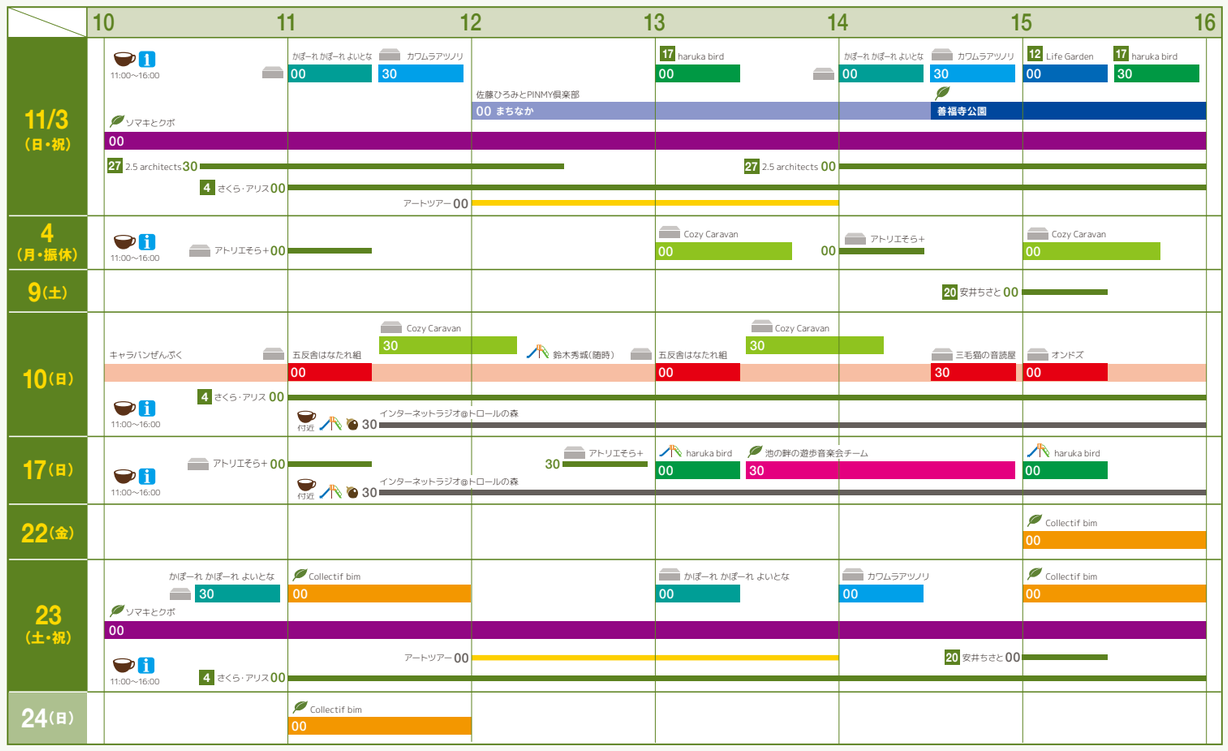
善福寺の池は、なぜここにあるのか？ ここではこれまで何があったのか？ 池の畔を歩きながら体験する各種の活動・パフォーマンスが、土地の記憶を呼び覚まし、その歴史を紐解き、この地域の風土に想いを馳せる不思議な音楽会。土地の「囁き」を聴き取り、その内容をまちの未来に生かす「アートと芸能の意味」を探る。

日時　11.17（日） 13:30~15:00　場所　公園内周遊

Time Schedule

※天候等により中止または会場を変更する場合があります。その際はWebでお知らせします。

■＝身体表現　■＝空間展示系のパフォーマンスやWS　アクティングエリア　＝公園内周遊　＝クヌギ広場　＝遊具広場付近　＝野外ステージ　0＝展示作品付近



野外マップ

※展示場所は変更する場合があります。

1・3・5~27は会期中常設展示　2・4は会期中日時設定展示

インターネットラジオ

@トロールの森

アーティストへのインタビューやアートツアーの様子、公園を散歩する人とのトークなどをYouTubeやFacebook等で発信します。11/10（日）と17（日）には公園内に放送ブースが出現。（雨天中止）

運営：ラジオぱちぱち
協力：青山学院大学 総合文化政策学部 鳥越けい子研究室

インフォメーション

会期中の日・祝に公園内に設置するトロールの森の総合案内所。作家のポートフォリオや公演のチラシなどが揃っています。

オープンカフェ

淹れたてのコーヒー、紅茶、手作り菓子をお楽しみください。

日時　11.3（日・祝）・4（月・振休）
10（日）・17（日）・23（土・祝）

集合　野外ステージ向かい

アートツアー

アーティストと一緒に公園をまわり作品鑑賞を行います。

日時　11.3（日・祝）・23（土・祝）
12:00~14:00

集合　インフォメーション付近